

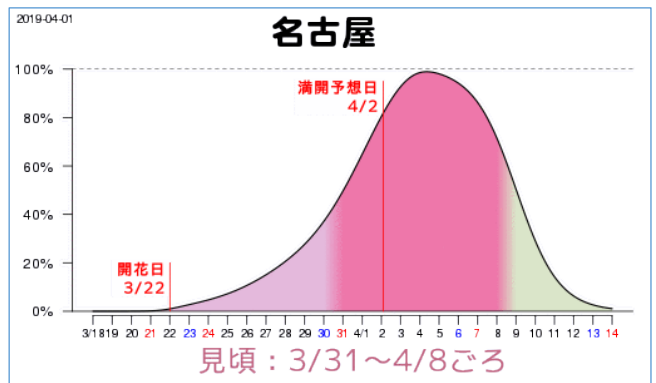
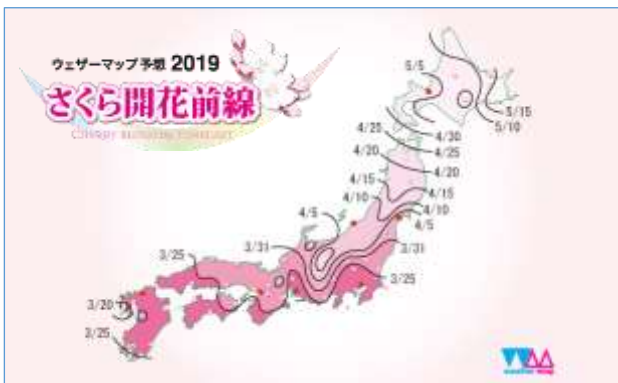


“平成”最後のさくら満開 「日本さくら名所 100 選」(岡崎公園)



〈左〉「日本さくら名所 100 選」に選定された岡崎公園は、岡崎城を中心とする公園と周辺にかけて約 800 本のサクラが咲き競い、ことに夜桜風景は、東海随一とされています。

〈右〉奥山田のしだれ桜は、1300 年程前に持統天皇が、御手植えされたと伝えられています。高さ 17m から花が流れ落ちるように咲き誇ります。



今年の東海・北陸のさくらは、平年より早い開花となっています。28 日には、福井や富山で平年よりもかなり早く開花しました。

今年の冬は、冬型の気圧配置が続かず暖冬となっているため、休眠打破はかなり鈍く、花芽の成長のスピードは遅かったとみられます。この影響は、静岡など冬の気温が高い地域でより大きくなります。2 月の前半は一時的に寒くなりましたが、それ以降は気温が高い状態が続いたため、平年より早い開花となりました。特に北陸は、暖冬の影響が小さいため、かなり早い開花となっています。一方、静岡は暖冬の影響が大きく、遅い開花となっています。

「さくら開花予想 2019」(ウェザーマップ)